

# 社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成 28 年 5 月 26 日

計画の名称	1 尼崎市における下水道施設の機能向上と適正な維持管理（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度（5年間）	交付対象	尼崎市
計画の目標			

下水道施設が適正に機能を発揮するよう老朽化した施設から随時改築更新を図るとともに、改築更新時には高度処理化、合流改善対策、浸水対策、耐震化といった機能向上を図る。

## 計画の成果目標（定量的指標）

- （合流式下水道改善事業） 合流改善の3つの指標を全て達成した処理区数を、0処理区（H22）から全3処理区（H26）に増加。
- （高度処理化事業） 高度処理化の処理数を、0池（H22）から5池（H26）に増加。
- （耐震化事業） 耐震診断の施設を、2処理場・0ポンプ場（H22）から2処理場・9ポンプ場（H24）に増加。
- （管きよ改築事業） 管きよ改築済延長を、1.3km（H22）から8.0km（H26）に増加。
- （設備改築事業） 設備改築更新進捗度を、0%（H22）から100%（H26）に増加。
- （浸水対策事業） 丸島雨水幹線（2,000mm）の雨水排除面積を、0ha（H22）から58ha（H24）に増加  
雨水浸透管（200mm）の雨水排除面積を、47ha（H22）から51ha（H26）に増加

## 定量的指標の定義及び算定式

## 定量的指標の現況値及び目標値

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>（合流式下水道改善事業） 合流改善の3つの指標を全て達成した処理区数</li> </ul>	0処理区	0処理区	3処理区	3つの指標 { 汚濁負荷量の削減 …年間汚濁負荷量の削減 公衆衛生上の安全確保…未処理放流回数削減 きよ雑物の削減 …スクリーン目幅の縮小
<ul style="list-style-type: none"> <li>（高度処理化事業） 高度処理化の処理数（東部浄化センター0池から2池、北部浄化センターは0池から3池）</li> </ul>	0池	0池	5池	
<ul style="list-style-type: none"> <li>（耐震化事業） 耐震診断の施設数</li> </ul>	2処理場・0ポンプ場	2処理場・9ポンプ場	2処理場・9ポンプ場	
<ul style="list-style-type: none"> <li>（管きよ改築事業） 管きよ改築済延長</li> </ul>	1.3km	6.4km	8.0km	
<ul style="list-style-type: none"> <li>（設備改築事業） 改築更新進捗度% = (事業期間中の改築・更新施設数 / 事業期間中に改築・更新が必要な施設数) × 100 事業期間中に改築・更新が必要な施設 = 2処理場・8ポンプ場</li> </ul>	0%	40%	100%	
<ul style="list-style-type: none"> <li>（浸水対策事業） 丸島雨水幹線（2,000mm）雨水排除面積 雨水浸透管（200mm）雨水排除面積</li> </ul>	0ha 47ha	58ha 49ha	58ha 51ha	

全体事業費	合計 (A + B + C)	21,092 百万円	A	20,957 百万円	B	0 百万円	C	135 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.6%
-------	-------------------	------------	---	------------	---	-------	---	---------	-------------------------------	------

## 事後評価

### 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
尼崎市において実施	平成28年5月
	尼崎市ホームページにて公表

### 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 単独公共下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	合流式下水道改善事業	東部雨水ポンプ場雨水貯留池、東部浄化センター・東部雨水ポンプ場・中在家中継ポンプ場・北部浄化センター・高田中継ポンプ場・西川中継ポンプ場スクリーン目幅25mm	尼崎市						1,211	合流改善緊急
A1-2	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	東部浄化センター高度処理化事業	1系1・2号池	尼崎市						811	
A1-3	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	北部浄化センター高度処理化事業	1系1～3号池	尼崎市						1,139	
A1-4	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	北部浄化センター耐震化事業	管理棟、ポンプ棟、汚泥棟等耐震補強	尼崎市						38	
A1-5	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	東部雨水ポンプ場耐震化事業	東部雨水ポンプ場耐震診断	尼崎市						7	



A2-8	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	武庫川処理区大庄処理区分区管きょ長寿命化対策実施	600mm以上 1.0km(H22-24) 450mm以上 0.2km(H25,26)	尼崎市								580	長寿命化
A2-9	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	栗山中継ポンプ場設備改築更新事業	除塵機2台、沈砂・しさを搬出機、沈砂・しさを洗浄機、沈砂・しさを脱水機、沈砂撪揚機、汚水ポンプ1台	尼崎市								475	
A2-10	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	尾浜中継ポンプ場設備改築更新事業	除塵機2台、沈砂・しさを搬出機、沈砂・しさを洗浄機、沈砂・しさを脱水機、沈砂撪揚機、汚水・雨水ポンプ電気設備、空調、建物屋上防水	尼崎市								374	
A2-11	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	富松中継ポンプ場設備改築更新事業	計装設備、空調	尼崎市								65	
A2-12	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	大庄中継ポンプ場設備改築更新事業	除塵機7台、集砂装置、沈砂・しさを搬出機、沈砂・しさを洗浄機、沈砂・しさを脱水機、高圧・低圧電気設備、自家発電機設備、空調等	尼崎市								1,641	
A2-13	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	栗山中継ポンプ場設備長寿命化計画策定	沈砂池・ポンプ施設	尼崎市								6	長寿命化
A2-14	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	尾浜中継ポンプ場設備長寿命化計画策定	沈砂池・ポンプ施設	尼崎市								6	長寿命化
A2-15	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	富松中継ポンプ場設備長寿命化計画策定	沈砂池・ポンプ施設	尼崎市								6	長寿命化
A2-16	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	大庄中継ポンプ場設備長寿命化計画策定	沈砂池・ポンプ施設	尼崎市								6	長寿命化
A2-17	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	東難波雨水ポンプ場設備長寿命化計画策定	沈砂池・ポンプ施設	尼崎市								6	長寿命化
A2-18	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流/雨水	新設	浸水対策事業	丸島雨水幹線 2000×0.6km 雨水浸透管 200×0.2km	尼崎市								1,235	
A2-19	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	新設	浸水対策浸透施設整備計画策定	武庫川処理区	尼崎市								6	
A2-20	下水道	一般	尼崎市	間接	個人	合流	助成	新世代下水道支援事業制度 水環境創造事業	雨水貯留タンク設置助成金交付	尼崎市								1	新世代
A2-21	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流/雨水	新設	浸水対策事業	10年確率降雨対応 浮上防止型人孔蓋 160個	尼崎市								424	
A2-22	下水道	一般	尼崎市	直接	-	合流	改築	栗山中継ポンプ場耐震化事業	栗山中継ポンプ場耐震補強	尼崎市								123	
小計（流域関連下水道事業）																	5,337		
合計																	20,957		

**B 関連社会資本整備事業**

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考			
										H22	H23	H24	H25	H26					
B-1																			
合計																			

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
B-1																	

**C 効果促進事業**

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
C-1	計画・調査	一般	尼崎市	直接		長寿命化計画支援	施設（管きょ・設備）長寿命化計画策定	長寿命化計画策定のためのデータ整理	尼崎市							48		
C-3	活動支援	一般	尼崎市	直接		内水ハザードマップ	浸水対策事業	内水ハザードマップ印刷・配布	尼崎市							8		
C-4	活動支援	一般	尼崎市	直接		下水道パソネット	下水道事業全般	下水道パソネット・広報誌	尼崎市							4		
C-5	計画・調査	一般	尼崎市	直接		管きょ改築	管きょ長寿命化対策事業	450mm未満の管きょ点検・調査・改築	尼崎市							49	長寿命化	
C-6	下水道	一般	尼崎市	直接		新設	浸水対策事業	10年確率降雨対応（450mm未満の管きょ整備）	尼崎市							26		
合計																	135	

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C-1	施設の改築更新および維持管理情報（修繕履歴）のデータを蓄積することによって、基幹事業(A1-9、A1-17～19、A1-23～25、A2-7、A2-13～17)の長寿命化計画策定に活用する。																
C-3	基幹事業(A1-26、A2-18)で整備する雨水浸透施設に併せて、浸水対策のソフト対策として、市民の自助・共助を促し、浸水被害の軽減を図る。																

C-4	下水道整備が生活環境の改善や公共用水域の水質保全に役立つことをPRし、下水道整備に対する住民の意識高揚を図る。	
C-5	基幹事業である(A1-10、A1-31、A1-32、A2-8)と接続した枝線管渠の下水道長寿命化対策事業を一体的に行うことにより、面的な管きよ改築の促進を図る。	
C-6	基幹事業(A2-21)で整備する450mm以上の管きよ整備に併せて、450mm未満の管きよ整備を一体的に行うことにより、面的な浸水対策の促進を図る。	

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>合流式下水道改善事業を実施したことにより、公衆衛生上の安全確保、夾雑物の削減が達成され、放流先の水質保全に寄与した。</li> <li>耐震診断を実施したことにより、耐震補強対策を進めることが可能となった。</li> <li>計画的に老朽施設の改築更新を実施したことにより、適正に機能が回復した。また、長寿命化計画を策定したことにより計画的な改築が可能になった。</li> <li>浸水対策事業を実施したことにより、浸水被害の軽減に寄与した。</li> </ul>		
------------------------------	---	--	--

定量的指標の達成状況	指標（合流改善の3つの指標を全て達成した処理区数）	最終目標値	3処理区	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	3処理区			
	指標（高度処理化の処理数）	最終目標値	5池	目標値と実績値に差が出た要因		暫定手法により大阪湾流域別下水道整備総合計画の基準値を満たしていたことと、適正な維持管理により設備状態が良好に保てたことから、北部浄化センターの高度処理化工事の着手時期を延伸したため。
		最終実績値	2池			
	指標（耐震診断の施設数）	最終目標値	2処理場9ポンプ場	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	2処理場9ポンプ場			
	指標（管きよ改築済延長）	最終目標値	8.0km	目標値と実績値に差が出た要因		管きよ長寿命化計画（第2次）の計画延長が社会資本総合整備計画策定時の想定延長よりも増となったため。
		最終実績値	8.3km			
	指標（改築更新進捗度%）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	100%			
	指標（丸島雨水幹線雨水排除面積）	最終目標値	58ha	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	58ha			
	指標（雨水浸透管雨水排除面積）	最終目標値	51ha	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	51ha			

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--------------------------------------	--

## 3. 特記事項（今後の方針等）

今後も下水道施設が適切に機能を発揮するよう老朽化した施設説の改築更新を図るとともに、浸水対策、耐震化といった機能の維持向上を図ることにより安心・安全な都市基盤の整備を目指す。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

